

# 下水再生リン入り肥料が農家さんの手に！

JA横浜生産部会(野菜部、果樹部、植木部、花卉部等)へ

試験栽培用の肥料を配付します



横浜市では、下水汚泥からリンを回収し、肥料として活用する取組を進めています。

このたび、再生リンを肥料原料として配合した再生リン入り肥料が、JA全農かながわからJA横浜へ2200袋(1袋20kg)納品されました。この肥料を、JA横浜から各生産部会等に所属する農家の皆様に試験栽培用肥料として配付し、肥料の効果や使い勝手等を実感していただくことで、再生リン入り肥料の普及・啓発につなげます。

## ■ 再生リン入り肥料の活用

JA全農かながわにおいて再生リンを原料に、作物全般に使いやすいとされる汎用性の高い8-8-8(窒素8%、リン酸8%、カリウム8%)肥料をメーカー協力のもと製造しています。試験栽培を通して効果等を確認し、GREEN×EXPO 2027における積極的な活用などを通じて、市内を中心とした肥料市場への流通、利用促進につなげていきます。



下水再生リン(左)とPRロゴマーク「はま巡リン」(右)

## ■ 再生リンの肥料利用促進に関する連携協定

回収した再生リンを配合した肥料の開発・製造や市内を中心とした流通等の利用促進に向け、JA横浜、JA全農かながわと令和5年7月に連携協定を締結し、この取組を共同で推進しています。



## ■ 再生リンの概要

国土交通省の下水道革新的技術実証事業(B-DASH プロジェクト)において、月島JFEアクアソリューション株式会社と共に「MAPにより脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業」を北部汚泥資源化センターにて実施しており、この事業により、下水汚泥中に含まれるリンをリン酸マグネシウムアンモニウム(MAP)として回収、再生リンとして活用するものです。

| お問合せ先               |       |                  |
|---------------------|-------|------------------|
| (肥料の農業利用に関すること)     |       |                  |
| みどり環境局農業振興課長        | 田並 静  | Tel 045-671-2606 |
| (再生リン事業全般に関すること)    |       |                  |
| 下水道河川局マネジメント推進課担当課長 | 西高 幸作 | Tel 045-671-2940 |



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

